

令和4年6月20日
文 京 区

独立行政法人福祉医療機構が発行するソーシャルボンドの購入について

文京区は、積立基金の運用を通じた社会貢献への取組として、独立行政法人福祉医療機構（以下「同機構」という。）が発行するソーシャルボンド（第66回独立行政法人福祉医療機構債券。以下「本債券」という。）を購入しました。

同機構は、福祉の増進と医療の普及・向上を目的として国の全額出資により設立された独立行政法人で、国民一人ひとりが安心して暮らすことができる社会を築くための福祉医療の基盤づくりを支援しています。

ソーシャルボンドは、調達された資金が社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に充当される債券で、同機構は、2021年9月、本債券を発行するための枠組みであるソーシャルボンド・フレームワークについて、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則」に適合する旨のセカンドオピニオン（発行者：株式会社格付投資情報センター（R&I））を取得しています。

本債券の発行により調達された資金は、同機構が展開する福祉医療貸付事業（ソーシャルプロジェクト）に充当され、我が国が抱える社会的課題の解決に活用されます。また、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「目標1：あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる」、「目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「目標5：ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う」の達成にも貢献します。

文京区は、引き続き、SDGsの視点を生かして社会的課題の解決に貢献する取組を進め、今後も、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしてまいります。